

湘南浦高会通信 第 18 号

2025 年 8 月 1 日

注：氏名のあとの（ ）内の数字は高校卒業回数

＜総会実施報告＞

湘南浦高会第 12 回総会は、7 月 12 日（土）15:30 から藤沢商工会館にて開催されました。浦高同窓会本部から高橋副会長と香田副会長及び鎌倉在住の日本古民家保存協会瀧下理事長をゲストにお迎えして、高 11 回から高 38 回までの 23 名の出席がありました。



・会長挨拶 平井隆一（21）

お忙しい中、また猛暑の中、ご出席いただき大変有難うございます。湘南浦高会は、前会長の柳川義晴先輩（高 10 回）が 2014 年に第 1 回を開催。その後コロナで中断はありましたが、今回で 12 回目を迎えました。既に前会長から引き継いで 10 年を超えており、そろそろ世代交代の時期を迎えております。

本日は、ゲストスピーカーに鎌倉から日本古民家保存協会理事長であり古美術家であり建築家である瀧下嘉弘氏にご登壇いただき、「古民家の保存活動について」というテーマでご講演頂く予定です。

また、同窓会本部からは副会長兼浦和麗和会会長の高橋宜治氏と、副会長兼春日部地区浦高会会長の香田寛美氏に遠路はるばるおいでいただき、最新の浦高事情や浦和、春日部地区の同窓会活動のお話を聴かせて頂きます。

・本部及び地域同窓会からの報告 1 高橋宜治（22）

- ① 共学化問題：同窓会や生徒、親たちによる「共学化／別学を考える」テーマでデモ行進を行ったが、県教育局側では県内 4 か所で「意見交換会」を開催し、共学化に関して県民の理解を獲得する方針で動いている。

- ② 応援団による校歌指導：一部のマスコミで採り上げられたが、新入生入学時のオリエンテーションでの応援歌の練習が演出過剰で行き過ぎた面もあったようだ。今年からきっちりと対応されている。
- ③ グランド人口芝化：当初の目標額を越えて 6,600 万円の寄付が集まったが、昨今の資材費や建設費の高騰により 2 億円以上掛かると判明したため実施主体の県の判断を待っている。
- ④ 浦和麗和会創立 30 周年：浦和麗和会会長として今年の 11 月 29 日に、創立 30 周年記念総会を開催予定。内外からご招待したい。

・本部及び地域同窓会からの報告 2 香田寛美（25）

- ① 浦高同窓会創立 130 周年事業：今後 5 年間に掛けて「浦高未来プロジェクト」と称して、浦高の魅力を発信するプラットフォーム創りに注力していく。具体的にはこれからだが、浦高のホームページを充実することを手始めに進めていくこととしている。
- ② 春日部地区浦高会創立 25 周年：2001 年 9 月の創立以来香田会長が 25 年間綴って来た春日部地区浦高会会報である「喫茶去」を編集して、「創立 25 周年記念誌『喫茶去』で振り返る 25 年の歩み」という記念誌を出版したいと考えている。

・総会議事（別紙参照）

【第 1 号議案】2024 年度の活動報告

別紙に基づき、2024 度の湘南浦高会の活動が報告されました。主なイベントは総会が 7 月、鎌倉散策が 12 月、ゴルフコンペが 5 月と 10 月の 2 回実施されました。また懇親会もその都度開催され、会員相互の親睦が図られました。特に鎌倉散策では、他地区同窓会からの参加が参加者計 29 名中 13 名もあり、他地区間交流も推進されました。

本部同窓会の動きや「男女共学化」の問題についても、「喫茶去」等の情報を会員に適時配信することにより、周知を図りました。

【第 2 号議案】 会計報告

別紙に基づき、2024 度の会計報告が行われました。湘南浦高会の会計は、年会費等は徴収せずにイベント毎に都度精算しています。散策時の懇親会で集金時にカンパをお願いして、多少の黒字で運営しています。

【第 3 号議案】2025 度活動方針・計画・予算 承認

別紙に基づき、説明がなされました。具体的には、恒例の散策は、横須賀散策（5/21 済）、鎌倉散策（12/6 浄妙寺）を継続。ゴルフコンペも 2 回（春 4/24 済、秋 10/24 予定）開催。「湘南浦高会通信」は 2 回発行。地域・職域責任者会議への出席、他地区同窓会との関連では浦和麗和会総会 30 周年への参加を考えています。ボランティア活動は、会員が行っている活動への協力参加を検討したい。

予算については引き続き都度実費精算方式を採るので、年会費等の徴収は行わずに、年間予算は計画致しません。

【第 4 号議案】役員の欠員補充 承認

1 名欠員だった幹事に金川幸紀氏（38）を選出。役員の若返りを図る。

<総会「講演会」報告>

飯塚浩一（31）

今回の後援会では、建築家で日本古民家保存協会理事長の瀧下嘉弘（たきした・よしひろ）氏をゲストにお招きして「古民家の保存活動について」というテーマでお話いただきました。



講演では、瀧下氏が取り組んでこられた古民家の移築再生作業の過程とその結果を数多くの写真に沿って紹介していただくとともに、現代日本社会に向けて古民家が何を語り掛けているのかを、縄文時代から近世にいたる人々の暮らしと民家や建築物の歴史を踏まえてお話いただきました。

瀧下氏が取り組んでこられたのは「200 年前の古民家に新たな命を吹き込む」ことであり、内部に洋風の家具、暖炉、和室と洋室の組み合わせ、和紙行燈、ステンレスの流し台、食器棚、スタイリッシュな浴室、電気洗濯機、隠された空調設備などを組み込むことで、現代から見ると「暗い、寒い、貧しい」の象徴としてのかやぶき屋根の古民家を「明るく、温かく、豊かな」

生活の場として蘇らせておられます。こうした再生が可能なのは、古民家の本質が太い柱と大きな梁であり、柱と梁を接合する技術＝仕口が受け継がれてきており、また、新材を組み合わせることで古材のリサイクルができるからです。

このように瀧下氏は、古民家を近代社会が見失いつつある循環維持可能社会としての前近代社会を象徴するものとして位置づけておられます。そして、江戸時代の民家には神棚があり、農民の暮らしは自然や祖先に対する畏敬の念とともにあったことを指摘されました。さらに、移築は奈良時代から日常茶飯事であったこと、奈良時代の鎮護国家としての宗教建築、その後の武家社会における権力と権威の建築である書院造り、支配者のステイタスを示す草庵茶室、貴族の建築である数寄屋造りなどを振り返った上で、農民が安楽に暮らした 18 世紀に古民家が完成するまでのプロセスを、近世の古民家の屋根構造や大工の技と道具の写真とともに提示していただきました。

講演後に参加者から、大工さんが減ってきているなかで仕口などの伝統を守るためには何が必要でしょうかという質問が出され、瀧下氏から、(1)すぐに完成する組み立てだけの家ではなく、大工さんの技術を必要とする家を注文する人が増えること、(2)大工さんの給料を上げること、が重要であろうとの回答をいただきました。

<総会後の懇親会実施報告>

金川 幸紀（38）

総会に続き、藤沢駅北口の庄や藤沢北口店にて懇親会を開催しました。同窓会本部の高橋副会長（浦和麗和会会長）、香田副会長（春日部地区浦高会会長）と、「古民家の保存活動について」講演された瀧下様にもご参加頂きました。

平井会長による乾杯のご発声に始まり、総勢 27 名が集った懇親会は、会員による近況報告へと進み、終始話題の尽きない和やかなひとときとなりました。最後は飯塚幹事による一本締めで、盛会のうちに閉会いたしました。

60 歳を目前にした 38 回卒の筆者にとっては、現役を退かれた先輩方が、スポーツや文化活動、若手育成、地域コミュニティ支援などに精力的に取り組まれている姿がまぶしく映ると同時に、この交流の輪を現役世代にも広げるには何ができるか、改めて考える機会と

なりました。

来年の総会・懇親会では、ご参加いただいた皆様との再会を心より楽しみにしております。そして若手・現役世代や、初めて参加する方々を大歓迎いたします。

＜総会等参加者＞（敬称略・ゲスト除く）

早野 総和（11）、七海 耕一（14）、芳賀 八郎（14）、河野 英一（16）、吉原 英二郎（18）、逸見 仁道（21）、吉田 学（23）、梅川 誠（26）、高橋 満雄（26）、村上 靖宏（26）、白鳥 芳武（29）、杉村 道明（30）、平原 治雄（30）、轟木 俊男（31）、但野 正行（34）、石井 克昌（38）、中島 博之（38）、平井 隆一（21）、原田 洋（21）、梅本 慶三（25）、大出 佳和（27）、飯塚 浩一（31）、金川 幸紀（38）

★ ★ ★ ★

＜会員交流イベント実施報告＞

＜第1回横須賀散策＞

平井隆一（21）

2025年5月21日（水）新緑と爽やかな海風が吹く中、湘南浦高会主催の「第1回横須賀散策」が開催されました。朝9時30分にレトロなJR横須賀駅に総勢20名が集まりました。ここで主催者である湘南浦高会の平井隆一会長からご挨拶、並びに横須賀シティガイドの富澤さん（21）と篠原さんが紹介され、A、Bの2グループに分かれて「港よこすかハイライトコース」のツアーがスタートしました。

1.[JR 横須賀駅] 明治22年開業。大正期の面影残すレトロな駅舎。当時の終着駅らしく到着ホームから階段無しで駅舎の外へ。以前は駅舎の外側は全域が海軍の横須賀軍港で、国家機密の立ち入り禁止地域でした。



2.[ヴェルニー記念館] 横須賀製鉄所（造船所）を建設し、日本の近代工業化礎を作ったフランス人・フランソワ・ヴェルニーの功績と造船所の意義を後世に伝え

るために建てられた。内部にはイギリスで製造され、オランダの会社経由で日本に輸入。横須賀造船所に搬入された圧力3トンのスチームハンマーが設置展示されています。



3.[戦艦陸奥の主砲] 全長18.8m 41センチ砲が海沿いに置かれていた。陸奥はここ横須賀海軍工廠で建造され、戦艦長門とともに海軍の旗艦として日本国民に象徴として愛されたが、謎の爆発事故で沈んだ。



4.[ヴェルニー公園] フランス式花壇や洋風あずまやなどが設けられ、多種多様なバラが彩を添えています。各国の王女様や日本の皇族の名前が付いた新種のバラも多数鑑賞することができました。

5.[ヴェルニー・小栗上野介胸像] 2027年のNHKの大河ドラマの主人公はこの小栗上野介で決まったそうで、横須賀市は大歓迎とのこと。主演は松坂桃李が抜擢されたそうです。

今村・大宮浦高会会長経由で浦高OBの織本重道氏が書いた文献によると、小栗上野介の祖先は三河出身。家康の小姓で、主人を守って活躍した人物だったようです。上野介忠順（ただまさ）はもともと外国排斥派だったが、大老井伊直弼に命じられ日米修好通商条約批准書交換のため米国に派遣された時見聞した事柄に驚愕し、一転して開国、近代化、その為の財政再建を主張し、奔走した。その後の彼の半生はNHKドラマを観て確認してください。

6.[ティボダイエ邸] 横須賀近代遺産でルートミュージアムの拠点。横須賀製鉄所副首長として多様な船の建造に関わった人の宿舎。往時の西洋館の骨組みを内部に展示している。

7..[軍港めぐり] 本日の横須賀散策の目玉であるクルーズ。遊覧船に乗りながら海上自衛艦や米海軍の艦船を間近に見るエキサイティングな 45 分間。普段見られないイージス艦、潜水艦、空母、潜水艦救助船、などなど、気持ちの良いそよ風に吹かれながらツアーを堪能しました。



8.[ドブ板通り] アメリカンな店舗が並ぶスカジャン発祥の地。

9.[記念館三笠] 120 年前、日本海海戦でロシアを破り日本に勝利をもたらした海軍の旗艦。本物の鋼鉄製戦艦。英国製。三笠の艦上で全員で記念撮影をしました。



10.[ポートマーケット] お土産もの多数。

11.[懇親会] 横須賀中央駅近くのイタリアン「ポットベリー」で懇親会。湘南浦高会恒例の参加者全員の自己紹介で盛り上がり、あっという間にお開きになり、楽しい時間を持つことができました。

また次回は 12 月上旬に「鎌倉散策」で再会することを約して散会しました。

<ゴルフコンペ>

原田 洋 (21)

第 12 回湘南浦高会のゴルフコンペを、2025 年 4 月 24 日 (木) にかんなみスプリングス CC (静岡県函南町) にて実施しました。天気は予報通りの曇りがちでしたが、気温が上がらず快適な 1 日でした。かんなみスプリングス CC は、富士山と駿河湾が望められるなど景観は素晴らしいコースなのですが、ティショットが深い谷超えのホールやグリーンのすぐ横に池が広がるショートホールなど、プレッシャーのかかる難しいコースです。本コースへの挑戦は、昨年 10 月に続き 3 回目になりますが、成績は 90 台が 3 名、100 以上が 3 名でスコアの平均は 102.7 でした。今回の参加者は 6 名と年々少なくなる傾向にあります。一方、平均スコアや平均年齢は増えるばかりです。とはいえ、私自身まだまだゴルフを諦める気にはなれません。これからは若い方々にも参加していただき、元気に楽しいコンペを続けたいと思っています。



写真右から 七海耕一 (15 回)、平井隆一 (21 回)、大出佳和 (25 回)、芳賀八郎 (14 回) 梅本慶三 (25 回)、原田洋 (21 回)

★ ★ ★ ★

連絡事項・今後のスケジュール

<会員交流イベント>

・第 13 回ゴルフコンペ 10 月 24 日開催予定
開催 2 か月前頃にご案内します。

・鎌倉散策 12 月 6 日 (土) 開催
「一乗恵観山荘」の見学がメイン

その他のイベントは決定次第ご案内します。
皆さんの積極的なご参加をお待ちしております。

発行責任者：平井 隆一 (21・会長)

編集責任者：大出 佳和 (27・事務局長)

<別紙・総会資料>

【第1号議案】2024年度の活動報告（大出）

2024年度の総会において、活動方針として、引き続き①地域同窓会組織の確立、②会員相互のコミュニケーション活動、③本部・他地区同窓会との連携の3つを掲げました。それぞれの方針については次のような状況です。

①立ち上げ時から10年以上経過して、会の運営を当初メンバーから若い世代への引継ぐ時期にきていますが、若い世代の参加率が低く、世代交代がうまく進んでいないと言えません。

②本部同窓会や地域同窓会の情報は、100余名にメールで配信して情報共有を図っていますが、実際の活動へ参加するメンバーは役員＋αと固定されていて、会員相互のコミュニケーションは促進されているとはいえません。イベントへの若い世代の参加を増やす必要があると感じています。

③鎌倉散策、横須賀散策は、平井会長からの声掛けもあり、高21回を中心として本部・他地区同窓会からの参加者が多く、連携はうまく行きつつあります。また、平井会長が同窓会理事として、理事会に出席したほか、「地域職域同窓会責任者会議」や「西部地区浦高会20周年記念総会」（2024.08.25）、「大宮浦高会」（2024.11.09）にも出席し、地域間交流を深めてきています。

昨年度の活動については次の通りです。

(1)総会の開催：

- ・2024年7月6日（土）藤沢商工会館にて実施、活動方針・計画の確認。会員19名、ゲスト2名計21名参加

(2)役員会の開催：

- ・イベント前に適宜開催

(3)会員交流イベントの開催：

- ・2024/4/16：第10回ゴルフコンペ7名参加 三島CC
- ・2024/10/16：第11回ゴルフコンペ開催 5名参加 かなみスプリングスCC
- ・2024/12/7：鎌倉散策（北鎌倉編）29名参加（含む他地区参加者13名）

(4)会員懇親会の開催：

- ・2024/7/6：総会后21名（含ゲスト2名）
- ・2024/12/7：鎌倉散策後28名（含他地区参加者13名）

(5)「湘南浦高会通信」の発行：

- ・第16号（2024/8/10発行）
- ・第17号（2025/4/1発行）

メールアドレスが登録されている会員へ発送。

(6)その他

同窓会本部からの指示もあり男女共学化等についての情報提供をタイムリーに行いました。

【第2号議案】2024年度の会計報告（梅本）	
2025年3月31日現在	
1. 前年度繰越金	32,177
2. 総会（2024.7.6）会費	118,000
(6,000円×19=114,000 4,000円×1=4,000)	
3. 総会お祝い金 同窓会本部より	10,000
4. 鎌倉散策懇親会残金（12/7開催）	10,260
5. 寄付金（平井会長）	5,000
収入計	175,437
1. 総会 会議室使用料（藤沢商工会議所）	19,470
2. 総会 飲み物代	1,890
3. 総会 本部お車代 篠田事務局長	5,000
4. 講師謝礼 オーボエ奏者渡辺さん(37)	30,000
5. 懇親会飲食代 庄や 4,000円×22名	88,000
支出計	142,300
差引残高（次期繰越金）	31,077

2025年7月12日

上記の通り会計報告いたします 会計 梅本慶三

上記の通り相違ないことを認めます 監事 原田 洋

【第3号議案】2025年度の活動方針・活動計画・予算（平井）

1.活動方針

(1)地域同窓会組織の確立・・・世代交代を進めるために若い世代に役員に加わってもらう。

(2)会員相互のコミュニケーション活動・・・イベントへの若い世代の参加を促す。

(3)本部、他地区同窓会との連携・・・同窓会総会や「散策」などで、本部や他地区間コミュニケーションを図りたい。

の3つを推進します。

2.活動計画

(1)総会の開催：7/12（土）藤沢商工会館にて実施

(2)役員会の開催：適宜役員間の懇親およびイベント準備

(3)会員交流イベントの開催：

- ・ハイキング、散策等：
- 横須賀散策を実施（5/21実施済み）
- 紅葉時期の鎌倉散策は継続実施（12/6実施予定）

- ・ゴルフコンペ：春、秋の年 2 回開催。春（4/24 開催済）、秋（10/24 開催予定）
- ・工場見学会等：実施について検討します。

(4)会員懇親会の開催：会員相互のコミュニケーションの推進

- ・イベントの終了後にできる限り懇親の機会を設定する。

(5)「湘南浦高会通信」の発行：年 2 回発行（8 月、3 月）

(6)地域・職域同窓会責任者会議への出席

(7)他地区との交流を促進

- ・春日部地区同窓会の会報「喫茶去」は継続配信。
- ・散策イベントについて本部・他地区同窓会の呼びかけ継続
- ・浦和麗和会総会（11/29 開催）への出席を予定

(8)地域貢献・ボランティア活動

- ・メンバーの河野英一氏が理事長を務める「湘南健康長寿研究会」や、平井会長が加入している「一般社団法人デレクトフォース」が平塚のゆるぎの里で遊歩道整備作業ボランティアをしているので、それらの活動への参加を検討したい。

3.予算

- ・各イベントは単独で収支決算できるように運営するので、特段予算組みは行わない。
- ・各イベントにおける残金は、湘南浦高会運営費（主に通信費・雑費）に充当させていただく。

【第 4 号議案】湘南浦高会の役員人事について（平井）
 昨年から欠員となっていた幹事を新たに担当いただきます。

- ・幹 事 金川 幸紀（高 38 回）新任（任期は 2026 年の総会まで）

なお、現在の役員体制は、昨年の総会で承認いただきました次のメンバーです。（2026 年の総会まで）

- ・会 長 平井 隆一（高 21 回）
- ・副会長 梅本 慶三（高 25 回）
- ・事務局長 大出 佳和（高 27 回）
- ・会 計 梅本 慶三（高 25 回） 兼務
- ・幹 事 飯塚 浩一（高 31 回）
- ・監 事 原田 洋（高 21 回）

また、本部同窓会の代議員は、来年度からを平井会長から梅本副会長にバトンタッチします。

以上